

移住者インタビュー

～憧れの漁師になるために～

沖縄県でウェブサイトの作成などの仕事をしていた儀間さん。以前から水産業の仕事をしたと考えており、長崎県の漁業就業支援フェアと移住相談会に参加しました。

そこで、平戸市館浦漁協の方々と知り合い、実際に定置網漁業を体験し、移住して漁師になることを決心したそうです。

ご夫妻で平戸市へ移住し、現在は館浦漁協の自営定置網漁業に従事しています。「漁業に転職して、朝の出勤は早くなりましたが、その分夕方以降は家族と一緒に過ごす時間ができました。地域の方々も気軽に声を掛けてくださり、地域の祭りや球技大会などの行事にも楽しく参加しています。今後は、水産業や地域のことをもっと知るためにいろいろなことに挑戦していきたいです」と語ってくれました。



沖縄県からのUターン
儀間 直晃さん
(水産業)



東京都からのUターン
村永 芳彦さん
(農業)

～双子の誕生を機に農家を継承～

東京都でそれぞれ会社員として働いていた村永ご夫妻は、双子の誕生を機に子育て環境を見直し、芳彦さんの地元・諫早市高来町へ移住を決意しました。ご実家が農家であったことも後押しとなり、現在は農業を中心とした新たな生活を築いています。

都会では、通勤や人間関係に大変さを感じていたそうですが、移住後は、自分のペースで作業ができるようになり、人間関係のストレスも少なく、努力した分だけ収入につながる農業の魅力を感じ、地域の温かさにも支えられているそうです。

休日には、家族で山茶花高原に出かけるなど、自然の中でのびのびとした子育てを楽しんでいます。今後の目標は「ゴーヤの栽培で単位面積あたりの収穫量1位を目指すこと」と語ってくれました。

～人とのつながりが広げた、長崎県での新しい暮らし～

東京で起業後、仕事で長崎県を訪れた際に出会った地域の人々の温かさや、人々との距離の近さに心を動かされ、2022年に移住した光岡さん。現在は、長与町の介護施設で働きながら、地域に寄り添った教育や福祉の活動にも取り組んでいます。

移住前は、時間や人間関係に追われる日々を送っていましたが、今は自然に囲まれ、人々とのつながりを大切にしながら、心にゆとりのある暮らしを実感しているそうです。

移住の際は、ながさき移住サポートセンターの相談対応や仕事・住まいに関する情報提供も支えになりました。今後は、「障がい福祉や不登校支援を広げていきたい。一歩を踏み出せば新しいつながりや可能性が広がる。迷っているならまず行動してみたい」と語ってくれました。



東京都からのUターン
光岡 勇祐さん
(福祉職)



島根県からのUターン
岸川 桃子さん
(地域おこし協力隊)

～長崎の離島を「最高の学び舎」に変える、私の挑戦～

島根県からUターンで移住し、新上五島町の地域おこし協力隊として活動している岸川さんは、大学卒業後、対馬市と新上五島町で5年間教員として働く中で「島に関わり続ける子どもを育てるにはどうすればよいか」と考えるようになったそうです。そのヒントを求めて、学校現場を離れ、島根県の海士町で1年間生活し、最先端の取り組みを学びました。この学びを長崎県の離島で形にしたいと思っていたところ、再びご縁をいただき、新上五島町の地域おこし協力隊として活動することになったといいます。

今後は、「どこにいても島(故郷)に関わり続ける人材を育てることを目指し、地域全体を学びの場に変えて、子どもたちが『この島で育ったから今の自分がある』と胸を張って言える環境を地域の方々と一緒に作っていきます」と語ってくれました。

県政特集

一人一人に寄り添う 長崎県への移住

～Uターンで始める新しい暮らし～

本県では、全国に先駆けて進む人口減少や少子高齢化の中にあっても、地域を残し、活力を高め、長崎県を前へ進めていくために、思いを寄せる方々のUターンを力強く後押ししています。

県と市町が共同運営する「ながさき移住サポートセンター」では、住まいや子育て、地域での暮らしなど、移住に関するさまざまな相談に対して、一人一人に寄り添ったきめ細やかなサポートを行っており、安心して移住できる体制を整えています。

県外にお住まいのご家族やご友人など、長崎県での暮らしに関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ「ながさき移住サポートセンター」をご紹介ください。



長崎県知事 平田 研

<長崎県の魅力> 長崎県のココが良い!!

犯罪発生率

(犯罪認知件数/人口)で算出



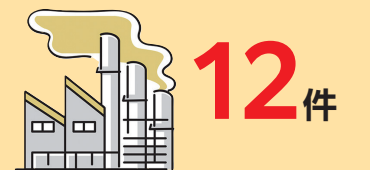
犯罪認知件数：犯罪統計(令和7年1月～12月)
人口：令和2年度国勢調査

新規学卒者 初任給(大卒)



令和7年度賃金構造基本統計調査

誘致企業による 立地件数(R6年度)



ながさき産業振興プラン2030

医師の人数

(人口10万人あたり)



令和6年(2024)年医師・歯科医師・薬剤師統計概況

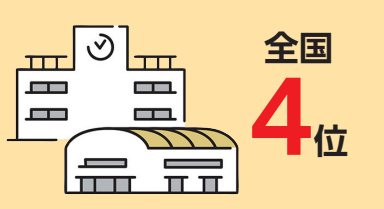
合計特殊出生率



令和6年(2024)人口動態統計(確定値)の概況

高校の数

(15～17歳人口10万人当たり)



統計でみる都道府県の姿2026

〈相談窓口〉県内21市町の情報を提供

県と県内21市町が共同で運営し、住まいや暮らし、子育てなど、Uターンに関するさまざまな情報を提供する「ながさき移住サポートセンター」を長崎県庁と東京都内に設置しています。Uターンを検討している方はもちろん、ご家族やお知り合いの方もお気軽にご相談いただけます。

相談窓口

【長崎本部】
長崎市尾上町3-1 県庁4階
☎095-894-3581(直通)
受付時間 9時～17時(月～金)
※祝日、12/29～1/3除く

ウェブでのご相談
はこちらから→



【東京窓口】
東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階
(ふるさと回帰支援センター内)
☎080-7735-3852(直通)
受付時間 10時～18時(月曜休館)
※祝日、8/11～17、12/28～1/3除く

長崎本部の相談員から一言



脇川さん

私自身もサポートセンターの支援を受けてUターンで移住しました。経験者として、新しいスタートのお手伝いをしています。



松尾さん

生まれも育ちもずっと長崎県です。観光ではなかなか見えない、暮らしてこそ分かる長崎県の良さを、ぜひ感じていただきたいです！

移住検討の初期段階からさまざまな相談が可能

まだ移住するか決めていないのですが、相談できますか？

もちろん大丈夫です。「情報の収集段階」でもご相談いただけます。内容に応じて、必要な情報を案内しますので、ご安心ください。



長崎県のどの地域に移住しようか迷っています。それぞれの市町の特徴について知りたいです。

長崎県では、市町の様々な情報を一元化したポータルサイト「ながさき移住ナビ」で発信しているほか、事前に実際の暮らしを体験できる「お試し住宅」を設置している市町もあります。



都市部在住でも大丈夫！各地で大規模相談会を開催

ながさき暮らし相談会

住まいや暮らしなどに関する相談ができる大規模移住相談会を、東京都、大阪府、愛知県、福岡県で開催します。具体的な日時や場所はウェブサイトですぐ発信しています。

＜今後の相談会＞

7/26 (日) 福岡 JR博多シティ
9/5 (土) 大阪 グランフロント大阪
10/17(土) 東京 ビジョンセンター東京八重洲
その他、名古屋1回、東京1回を予定



〈移住者支援〉Uターンへのさまざまな支援を行っています

総合ポータルサイト・SNS



本県への移住に関心がある方を応援する総合ポータルサイト「ながさき移住ナビ」の他、SNSでも役立つ情報を発信しています。



総合ポータルサイト



LINE



Facebook



Instagram

ながさき移住倶楽部



会員登録すると、さまざまな特典やサービスを受けられます。「ながさき移住ナビ」公式LINEから簡単に登録できるほか、スマートフォンでの会員証表示やコンテンツの利用が便利です。

※長崎県外在住の方のみ登録可能

主な特典

- ・引っ越し料金20～30%OFF
- ・レンタカー料金の割引
- ・電気料金1年間5%OFF

移住検討者へ特典を提供していただける事業者さまも随時募集しています。



住まいに関する支援



【お試し住宅】

移住希望者を対象に、一定期間、その地域の生活環境を体験できるお試し住宅を県内12市町で設置。無料、または格安で利用できます。



【空き家バンク】

空き家の所有者と希望者とのマッチングを行っており、県内17市町で運営。改修費用の補助などを行っている市町もあります。



【空家等管理活用支援法人】

移住を考える方の住宅探しや、空き家の活用に関する相談を受け付ける「空家等管理活用支援法人」が県内6市町で活動しています。



移住支援金



〈対象〉

東京23区内に在住または通勤していた方など

〈要件〉

県就職支援サイト「エヌナビキャリア」掲載の対象求人へ応募して就職した方など



YouTube「ながさき移住ナビ公式チャンネル」でも、移住先としての県内各地の魅力や移住者のリアルな声を動画で紹介しとるばい。

